

第2回 だてフォト部が撮影  
伊達市の魅力写真展

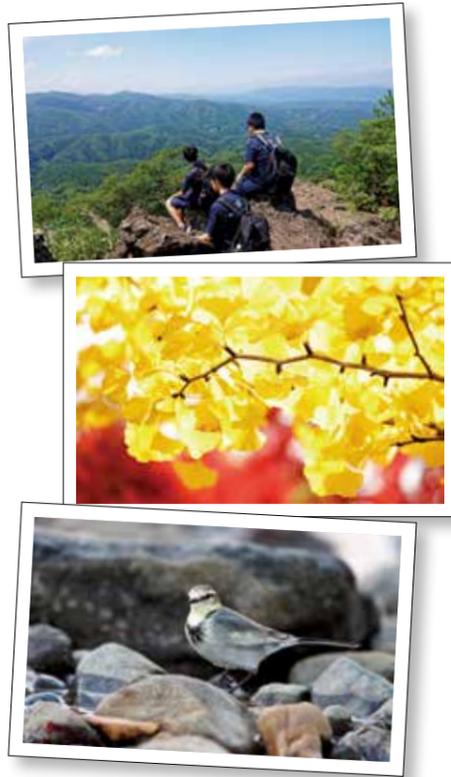
伊達市の魅力がぎゅっと詰まった写真展を行います。写真で地域の魅力を発信するボランティアサポーター「だてフォト部」が撮影したものを中心に、思わず「い〜ない!」と言いたくなる写真をお楽しみください。

☎ 秘書広報課広報広聴係 ☎ 575-1113

開催期間 3月17日(金)~4月6日(木)  
8時30分~20時(土日は17時まで)

開催場所 市役所1階シルクホール

- 展示内容
- ①だてフォト部一期生、二期生が伊達市で撮影した写真
  - ②「I LOVE DATE」写真撮影会で撮影した「絆」、「感謝」をテーマにした写真
  - ③秘書広報課が撮影した伊達市の風景写真



伊達市公式 Instagram  
今月の「#いいないだて」



Instagramで「#いいないだて」がついた投稿を広報担当者が確認し、今月の「ベスト・オブ・いいない!」を決定します。さて、今月の「いいない!」は?



アカウント名: @datena\_yoppariderさん  
撮影場所: 保原地域  
投稿日: 2月5日

朝焼けの霊山、い〜ない!

朝焼けや夕焼けは、つい撮りたくなるという撮影者さん。自転車通勤の途中で撮った朝焼けの阿武隈川と霊山のお写真は、早朝の澄んだ空気を感ずるすてきな一枚です。

「#いいないだて」をつけて投稿しよう

皆さんが撮った、思わず「い〜ない!」と言いたくなる伊達の写真をお待ちしています。

伊達市公式 Instagramはこちら▶



☎ 秘書広報課広報広聴係 ☎ 575-1113

#幸せがじゅずつなぎになるリレートーク

伊達市に住んでいる人が、今話したい人と対談し、実際につながりを作っていくコーナーです。誰とどのようなことを話すのか、台本はありません。伊達に移住し、果物の大ファンになった石川陽一郎さん。アート好きな菅野農園の菅野崇明さんと知り合い、普段から親しいお二人。緊張気味の石川さんに、失笑する菅野さん。どんな話になったのでしょうか。



菅野 崇明 × 石川 陽一郎

菅野崇明…平成2年生まれ。霊山町山戸田在住。高校卒業と同時に家業を継ぎ、りんご、桃、さくらんぼを生産する新進気鋭の果樹農家(菅野農園)。石川陽一郎(YOICHI-RON)…昭和52年生まれ。和歌山県出身。霊山町石田在住。独特の世界観が人気のアクリルガラス絵画家。

石川 崇明さんが農業をやるかと思っただけは何かですか?  
菅野 高校を卒業してすぐに家業を継ぎました。体力や経験を考えると、今やるの10年先に始めるのでは違うと思ったので、今やろうと思いましたが、石川 すばらしい。おいしいものを作るために気をつけていることってありますか。  
菅野 そうですね。フツ、待つてください、石川さんが硬すぎてもおもしろい(笑)。えっと、苦労する仕事でしょ、と言われませんがそれでもなくて、栄養や水がなければあげたり、暑ければ暑いなり、寒ければ寒いなりに植物を気遣って育てています。負担だと思っていないので楽しみながら果物を作っています。  
石川 お休みはありますか。  
菅野 天気の良い日は体を休める時間にしていきます。天気のいい日は畑に向いて、軽い仕事をして体を休めます。畑に出たほうが心も休まりますね。  
石川 僕からしたら信じられないほど働き者でびっくり(笑)。  
菅野 陽一郎さんは神経を使う手仕事なので、それだけ体力も使うし、頭も使いますよね。  
石川 農業は食に直結してすごい仕事だと尊敬しています。ところで、今僕らがいる場所菅野農園 Relax を建てた理由を教えてください。  
菅野 直売をしているのでお客さんがくつろげる場所を作りたいので、隠居小屋を改装しました。涼んだりお茶をたしなんだり、外を眺める時間をもってもらいたいです。デザインを提案して、梁を残したり壁をわざと白く塗ったり、大工さんと一つ一つこだわりながら作りました。  
石川 この植物はなんですか。  
菅野 フィンガーライムといって、指のような形になるライムです。中のつぶつぶを刺身やお肉に添えて、噛んで初めて柑橘の風味が楽しめるんです。興味を持って育てています。  
石川 うまく育ったらごちそうしてください(笑)。最後の質問ですが、菅野さんが幸せを感じるときはどんなときですか。  
菅野 畑に出て、空や山を眺めて深呼吸すると、その季節の香りや音が感じられるんです。季節を感じながら、農業を通して霊山に住み続けられることが、一番の幸せだと感じています。

今回のトーク: 大内清加さん(株式会社 大三) × 菅野崇明さん

※この植物…菅野さんと石川さんの後ろに写っている鉢植えの植物